一般質問

この一般質問の内容は、会議録（録音テープ）に基づいて各議員が原稿をまとめ、編集委員会が最終確認をしたものです。

運動公園の事業縮小分、13億円でどのような事業が行われたか。

富　春治　議員

問 町民に対して、町益を考える立場から、どのように説明するか。

町長 一般財源というものはこの事業をやらない場合にじゃあどうするかと、そして起債というものは借りる予定のものを借りないでおこうと、こういうことでありますから、事業費を削減することでありますから、事業費を削減すると同時に、その分だけお金を借りると、こういうことは必ずしも行政の中では難しいというふうに考えております。あと十七億円ここにお金をかけるということは、年間三億円仮に投じたとしても六年かかります。このことが当初計画した、あるいは前任者が計画したからそのまま計画どおり実施すべきだと、いうふうにならないだろうと、あるいは一般財源が浮いてくるのか、この差だというふうに考えております。その分をどこに振り向けるということはその年度年度、あるいは場合によっては一挙に一定の期間を経過した後にと、こういうふうになろうかと思いますが、そこで新しい事業は何もやっていないじゃないかということにもなるかと思います。

今なぜ翁長町長任期二ケ月前に宜野湾市の図書館活用依頼なのか。

問 図書館は町民に公約した立場上、答弁によれば十年近くかかるとのことだがそれならばもっと二三年前から活用依頼をして来なかったのか、町長選挙を二ケ月余り後に控えてなぜ今なのか。

町長 宜野湾市の図書館の利活用の要請と、あと三ヵ月残して何んでいまと、あと二ケ月であっても行政は休むことなく、できるものは全部片付けないといかんと、こういうふうに考えておりまして任期中は自分で処理できるものはやるべきもの、進めてまいりたいとこういうふうに考えております。

先に宜野湾市図書館の利活用を町民へとの要請行動は口頭で先に行ってきましたが、今回文章で行って参りました。

NPO条例で町づくり！文教の顔づくりを求めて職員の町づくり参画を！

仲松　勤　議員

問 NPO条例の制定で、町づくりの受け皿を行政で早目に確立し、又地方分権の時代にふさわしく情報や施設の提供を行い、官民一体、共に相互支援、交流を深め、町の活性化を推進できると考えるか？

町長 これからの町づくりは民間のノウハウの活用が大事です。NPOへの支援も積極的に取り組みたい。

問 町づくりは、人づくりだといわれています。特に役場職員の町づくりへの積極的な参画を求めたい。自ら町全体の課題を調査研究し、又提言を行うための「町づくり活性化委員会」を設置し行動する職員体制を創ったらどうか。

町長 同様の主旨の「町づくり研究会」を発足し、職員の参画を募集していきたいと考えます。

問 子供たちと共に文教の町づくりに参画するため先人を活用した地域学習を推進したらどうか例えば
①平和、福祉学習－平良幸市（賞）
②歴史、文学関係－比嘉春湖（賞）
③科学技術工作関係－大城助素（賞）
④広く文化－体験学習や夢－尚円（賞）
等と夏休みの自由研究で取り組むのもよいでしょう。私たちの町を知る事、そこから、町づくりは始まると思う、どうでしょうか。

教育長 これからの教育は地域学習が大変重視されます。町の偉人、先人たちへの学習は、明日を担う子供たちに感動とほこりを与えると思う「賞」についても鋭意検討したい。

産業地域入口交差点の改良工事で、交通混雑の解消を!!

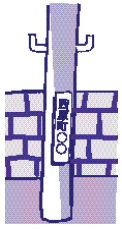
問 産業通り会や、まちづくり町民の会、PTA会、地域自治会からの長年の懸案で要請もあり、議会で何度も取り上げている、産業地域入口への道路の改良ですが、現状はどうですか!!

町長 国道関係者との協議は仲々進まず足踏み状態です。しかし、現状での交通混雑を考えれば、改良の必要性は当然です。町単独事業で実施し、植栽工事も合わせて行う予定です。

マリン・タウンへの町道計画について

問 国道バイパスや県道38号からアクセス道路が他市町行政の計画決定等でおくれています。町独自でのアクセス道路開通が必要です。早急に対策を!!

町長 小那覇交差点から海への町道の新設を平成十三年度事業採択に向け、県と調整中で、三〇億近い予算です。早期重要課題と考えます。



こんな質問もしました。
各電柱へ、地番、字名表示を!!

人件費の抑制について

前里光信　議員

問 現町長になってから義務的経費が多くなってきている。その一因はやっぱり人件費だと思います。一ケ月に一人で残業手当だけで五七万円も取ったり、年間で残業手当だけで三二万円もとる職員がいて、それを認めるようではますます増加していく、抑制すべきだと思うがその対策はどうなっているのか。

町長 この事については三月六日に職務会の中で全課長に職員の超勤対応についてはまず事前の承認をしなさい。それから健康管理、経費節減の面から、遅くまでしないように、課長も手伝いをし、事務の分担をし、事業の見直しを行い、電算化するなりして事務処理を能率的にやるように、超勤手当の削減についての指針を出しております。しかしこれを出せば超勤がなくなると言うようなことではありません。

町民本位のまちづくり

問 人の思想、信条と言うのは憲法で保障されています。いろんな考えがあって然るべきだと思います。四年前の町長選挙で町長の後援会の人達は『平安さんは保守系の人達と一緒に行動している。あれは保守になっている』保守と言う政治的スタンスを持った人達を一種の差別的な発言をしている。西原町にあっては保守的な考えを持った人間は人間にあらずと言わんばかりの差別や区別をしている。町長は基本的には町民一人ひとりを本心から大事にしたまちづくりをしているとは思えません。

町長 そう言うこともあったかと思いますが、あえて、思想、信条を私が否定することはありませんので、そのようにご理解いただきたいと思います。

町内保育園の実情

問 町内の保育所または町立の保育所に入所させたいが、うまくいかないと言う話しを聞きます。入所待ちと言うか、待機をしている児童達が何名いて、どういう状況かお伺い致します。

福祉課長 平成十二年四月一日現在で二八名の待機となっております。今公立、認可保育園含めて五二〇名保育を実施しております。内訳として、公立で待機児童十五名、認可の方で十三名であります。一番待機の多い年令でありますが一才児で、十三名と言うことになっています。

九州、沖縄サミットについて

問 役場に各国の国旗を掲げる意気込みはないか。

総務課長 国旗の製作、掲揚に相当の費用がかかりますので、本町はそこまではやる必要ないと考えています。

宜野湾市立図書館使用要請の成果は？

長浜ひろみ　議員

問 西原町には、充実した図書館がないため、隣接市に行って借りているような現状が現在でも続いております。宜野湾市教育委員会に西原町民の宜野湾市立図書館使用要請についての真意は何か。

どのような要請内容であったか。

宜野湾市教育委員会の返答はどのようなものであったかお伺いします。

町長 本町の場合、町立図書館もない状況で、町民が宜野湾市民同様ということはできないでしょうが、可能な限り門戸を開いてほしいと要請をしました。

宜野湾市としても今後インターネット、その他の時代を迎える昨今、多くの図書の利活用、隣接市町村連携を図るべきだと、前向きにこのことについては検討すると返事をいただいております。

イメージ写真

池田にある砂販売所周辺の環境問題について

問 池田にある砂販売所周辺の住民から環境問題や公害問題に対する苦情はないかどうか、又苦情があれば、内容はどのようなものであるのか、その苦情に対して当局はどのように対処したのか。

健康衛生課長 砂販売所の件で、まず機械の騒音振動、粉じん、煤煙、悪臭、農地転用申請問題で苦情がありました。

処理の方法は、早速その日現場確認し、その足で南部保健所まで行って相談しました。

南部保健所の職員、県の廃棄物対策課の職員と一緒に現場確認をし、その結果、現在ではその機械も撤去され、農地転用申請も本人から取り下げております。

問 砂販売所については、農地転用の問題は、本人が取り下げたという事ですが、道路拡張された後も引き続き継続して事業が行われるのかお伺いします。

健康衛生課長 機械を撤去したあと、砂販売所の事業主に確認をしました。

あとの残った土地を、ダンプ置き場にするか、タクシー会社にするか、しばらく何かヤードにして使うか、そのように考えていると、しばらく様子を見てからというお話です。